

夢
は、
あり
ます
か。



Mail : nyushi@sendai-nct.ac.jp (入試係)
URL : <http://www.sendai-nct.ac.jp/>

名取キャンパス 住所：〒981-1239 宮城県名取市愛島塩手字野田山 48 番地 TEL：022-381-0253 (代) FAX：022-381-0255 (代)
広瀬キャンパス 住所：〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央 4 丁目 16 番 1 号 TEL：022-391-5508 (代) FAX：022-391-6144 (代)

仙台高等専門学校

宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校は、2009年10月1日に「仙台高等専門学校」として高度化再編され、新たな高専として開校しました。

夢はありますか。
夢をみつけませんか。
夢をかなえたくはありませんか。

設立理念

高度に複合化した産業界で技術開発の中核を担う実践的・創造的な能力を有し、次世代のものづくり技術者として国際的に通用する、人間性豊かな人材の養成を通じて、科学技術と人間社会の調和的発展に寄与する。



名取キャンパス

広瀬キャンパス



人間形成を担う一般教養科目



低学年から学ぶ高度な専門科目

2キャンパス・7学科の豊富な学科構成

名取キャンパスの生産システムデザイン工学系4学科と、広瀬キャンパスの情報電子システム工学系3学科とによる豊富な学科構成となっており、工学基礎力と融合複合領域への技術的・学問的素養を兼ね備えた、幅広い場で活躍する実践的・創造的技術者を養成します。

入学定員を大幅に拡張した専攻科

科学技術の進展が急速な社会で、国際的に活躍できる高度な実践的技術者を養成するために、高等専門学校の5年間の準学士課程の上に、入学定員70名の専攻科が設置されています。2年間の専攻科課程を修了後は、大学卒と同等の学士(工学)などを取得することができます。

地域と社会に貢献する3つのセンター

地域社会との連携・地域貢献の核となる3つのセンターを設置し、地域の産業界との共同研究や技術相談、企業人材教育への協力、企業技術者と連携した高専教育の推進、地域の理科教育支援を強化し、地域と社会の発展に貢献します。

地域人材開発本部

- 地域イノベーションセンター (名取・広瀬キャンパス)
- CO-OP^{*1} 教育センター (名取キャンパス)
- ICT^{*2} 先端開発センター (広瀬キャンパス)

^{*1} CO-OP: Cooperative Education (企業などとの共同教育)
^{*2} ICT: Information and Communication Technology (情報通信技術)

授業科目

一般科目

一般科目は、社会人としての教養や、本校の専門科目を学ぶうえで必要な基礎的な力を養うための学習科目です。授業時間数は高校・大学コースよりやや少ないのですが、高校や大学に進学して学習するのと同じような科目を学ぶことができます。外国人教師による英会話の授業もあります。

科目展開

高校科目相当			大学の一般科目に準じた科目		
国語	化学	倫理	応用数学	生物学	
数学	地理	保健体育	化学概論	外国語	
英語	世界史	芸術	健康とスポーツ等		
物理	政治経済	等			

基礎的な情報処理教育

全学科で低学年からコンピュータによる情報処理教育をとり入れています。いわゆるインターネットに代表されるマルチメディア時代に対応したコンピュータ室を始め、パーソナルコンピュータが学内のいたる所に多数設置されていて、どの学科の学生でもコンピュータと身近に接することができます。

専門科目

実験・実習を十分にを行い、卒業研究に取り組む点は各学科とも共通です。各専門学科の詳細は、次頁(学科紹介)をご覧ください。



学年構想と多様な進路

5年間で培われる実践力と多様な進路の可能性 97%以上の卒業生が就職・進学 学生ひとりあたり約10～19倍の求人

学校制度における高等専門学校の位置づけ

右図は、学校制度における、高等専門学校の学科(準学士課程)及び高等専門学校専攻科(専攻科課程)の位置づけを表しています。

- 中学校卒業者は、高等専門学校(準学士課程)への入学の資格があります。
- 高校卒業者は、高等専門学校(準学士課程)への編入の資格があります。
- 高等専門学校(準学士課程)卒業者は、大学への編入の資格があります。
- 高等専門学校(準学士課程)卒業者は、高等専門学校の専攻科課程に進学する資格があります。
- 専攻科課程を修了して「学士」を得た者は、大学院への入学資格があります。

授業料・奨学金など

授業料(年間23.5万円、準学士課程・専攻科課程)は、公立高校(宮城県で約11万円程度)の約2倍ですが、国立大学(約53万円)の約44%です。5年間では公立高校3年+国立大学2年より安くなります。専攻科に進学すると国立大4年間と比べ、更に割安になります。

入 学 料	84,600 円
授 業 料	前期分 117,300 円 (年額 234,600 円)
教材・教科書代等	年額約 45,000 円 ～ 80,000 円 (学科により異なります。)
研修旅行等積立金	年額 20,000 円 ～ 24,000 円
後 援 会 入 会 金	10,000 円
後 援 会 費	年額 32,000 円 (日本スポーツ振興センター共済掛金を含みます。)

奨 学 金

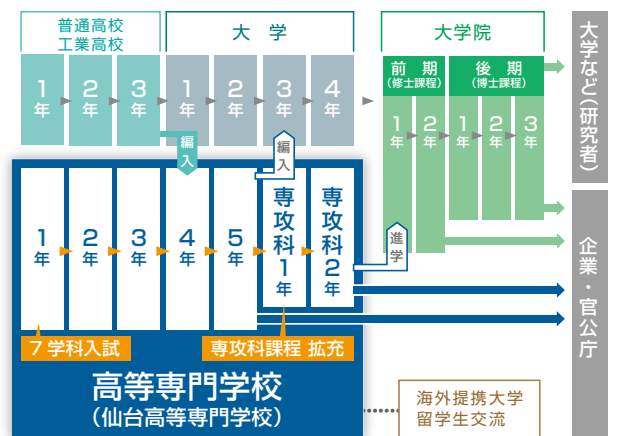
成績が優秀であるが、経済的に苦しいという学生に対しては、日本学生支援機構などの奨学金制度があります。この制度に関する案内等は、下記ホームページを参照してください。

日本学生支援機構 <http://www.jasso.go.jp/>

※ このほか、地方公共団体や民間団体の奨学金制度もあります。

入 学 料 ・ 授 業 料 の 免 除

入学前1年以内において、学費負担者の死亡又は風水害等の災害を受けた場合など、特別な事情により入学料の納付が困難であると認められる者に対し、選考のうえ、入学料の全額もしくは半額を免除し、またはその徴収を猶予する制度があります。また、授業料については、1～3年生では、国の費用により学生の授業料に充てる高等学校等就学支援金制度により、公立高校生が負担軽減される額と同額(保護者の所得により加算される場合があります)が助成されます。4～5年生では、経済的理由により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生に対し、選考のうえ、授業料の全額もしくは半額を免除し、またはその徴収を猶予する制度があります。



学科・専攻科の紹介

2キャンパス・7学科2専攻科の豊富な学科構成
名取キャンパス：生産システムデザイン工学系4学科・専攻科
広瀬キャンパス：情報電子システム工学系3学科・専攻科

在校生からの声

夢は「人に特別な思いを伝えられるデザイナーになること」

名取キャンパス 山本 結生 さん

私は現在、研究室のメンバーと一緒にポスターや映像といった作品づくりを行っています。それらの作品を、コンペに応募するなどといった授業以外の活動も積極的にこなし充実した毎日を送っています。

私の夢は、「デザイナー」になることです。

研究室のみんなとお互いに意見を交換し合い、時にはぶつかり合いながら一つのイメージを固めていくうちに、自分の思いを相手へより効果的に伝えることの楽しさや大切さを感じ、将来は広告デザインに関わる仕事がしたいと思うようになりました。これからも同じ志をもった研究室の仲間と刺激し合いながら、作品づくりや自分の研究を通して自分の将来を見据えていきたいと思っています。

学 科 紹 介

■ 名取キャンパス ■ 広瀬キャンパス

■ エレクトロニクス技術で安心できる未来を

知能エレクトロニクス工学科



エレクトロニクス技術を駆使した様々な機器・システムの知能化を通して、地球の環境保全、人類の福祉や安全な社会の実現に貢献できる創造的な技術者を育成します。電子回路のようなエレクトロニクスの基礎から、マイクロコンピュータ技術や材料・デバイス、さらにはレーザーやロボティクスといった応用技術まで、幅広く学ぶことができます。

■ 人々を結び支える電気の総合技術

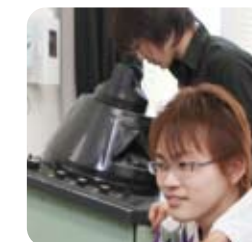
電気システム工学科



人々の生活を豊かにするためには、互いのコミュニケーションを円滑にする技術やエネルギーを安定的に供給する技術、さらには福祉に係わる技術など、電気の様々な発展が必要です。電気システム工学科では、講義と演習と実験を有機的に結びつけた教育プログラムのもと、基礎から応用への幅広い知識と技術を身に付けた技術者の育成を目指しています。

■ ネットワーク技術で未来を創る

情報ネットワーク工学科



インターネット・携帯電話・デジタル放送などの情報ネットワークや通信システムは、社会の情報化を支える基盤として今後ますます重要性が高まります。情報ネットワーク工学科では、通信・ネットワーク・コンピュータに関する幅広い知識と技術を身に付けた、高度化する情報基盤の将来を担い、ネットワーク社会の発展に貢献できる人材を育成します。

■ 世代を越えた豊かな空間を追求して

建築デザイン学科



人類は様々な建築をデザインし創ってきました。これから私たちは持続可能な社会と環境を継承していかなければなりません。建築デザイン学科では、人間性豊かな教養と芸術的感性を養いながら、デザインや設計製図、実験・実習、卒業研究などの実践的学習に重点を置き、建築に関する知識と技術を身に付けた質の高い住空間、社会環境の創造に携わる実践的技術者を育成します。

■ 未来をつくる、ものづくり

機械システム工学科



ものづくりに必要な「考える力」と「実現する力」を身につけます。ものづくりには、利便性や斬新さだけでなく、安全性や経済性を配慮した、複合的観点から製品を開発する能力が必要です。機械システム工学科では、考える力を身につける複合的な科目構成と、実現する技術力を身につける実技科目によって「未来をつくる創造性豊かな機械系技術者」の育成を目指しています。

■ ソフトウェア技術で情報社会を支える

情報システム工学科



パソコンからゲーム機、携帯電話、家電製品まで多くのコンピュータが利用され、それぞれの役割に応じて、画像や音声など様々な情報を処理するソフトウェアが動いています。情報システム工学科では、これらのソフトウェアを中心とした情報システムの基礎から応用まで、情報社会で活躍できる総合的な知識と技術を備えた人材を育成します。

■ 素材で環境を守る

マテリアル環境工学科



環境と調和した循環型社会の実現には、「マテリアルの高性能化」と「環境リスク低減」が求められます。本学科では、金属、無機、有機に関する幅広い専門知識および作製・評価技術、並びに地球環境の基礎概念および環境分析について、講義と実験がリンクした実践的な教育を実施し、環境維持と社会発展の両立に貢献できる「マテリアル総合エンジニア」を育成します。



充実した施設が様々な専門科目を支えます。

専 攻 科 紹 介

5年間の準学士課程終了後、2年間の専攻科課程に進学することで大学卒と同等の学士(工学)などを取得できます。

生産システムデザイン工学専攻

(名取キャンパス)

エンジニアリングデザイン能力を育成する



準学士課程で培った工学的素養の上に高度な専門技術を学ぶと共に、横断的な工学知識・技術を学習し、複合領域への対応能力を身につけます。さらに、産業界や地域社会、海外の教育機関と連携した体験的実務学習により、身につけた工学的素養を知恵にまで深めます。こうして、将来ものづくり分野を革新させる知恵と複眼的視野と複合領域への対応技術を併せ持ち、ものづくり過程の全体を見渡し技術の目利きをすることができる資質を養成します。

情報電子システム工学専攻

(広瀬キャンパス)

情報電子社会を支える技術者を育成する



最先端の情報電子社会を支える技術者には、社会の問題を国際的視野で考察し、高度な情報電子技術を駆使して問題解決する能力が求められます。情報電子システム工学専攻では、企業や学術交流協定を結んでいる海外の諸大学と強力に連携したカリキュラムにより、幅広い教養と情報・電子および関連分野の高度な専門知識、更には実践的コミュニケーション能力と国際的視野を養成します。専攻修了後は、国際社会における長期的キャリアを展望できる技術者や研究者への道が開かれます。

